

2024年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日
東

上場会社名 ダブル・スコープ株式会社 上場取引所
コード番号 6619 URL <https://w-scope.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 崔 元根
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 大内 秀雄 (TEL) 03-6432-5320
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第3四半期	36,265	11.8	3,627	△30.6	4,578	△35.5	797	△78.4
2022年12月期第3四半期	32,444	59.6	5,227	—	7,102	—	3,690	—

(注) 包括利益 2024年1月期第3四半期 11,888百万円(36.5%) 2022年12月期第3四半期 8,709百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第3四半期	14.48	14.29
2022年12月期第3四半期	67.37	65.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第3四半期	166,257	124,371	32.4
2022年12月期	139,526	113,264	36.1

(参考) 自己資本 2024年1月期第3四半期 53,784百万円 2022年12月期 50,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年1月期	—	0.00	—	—	—
2024年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年1月期の連結業績予想(2023年1月1日~2024年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	10.9	5,500	△29.8	4,600	△44.5	1,700	△61.5	30.81

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 2024年1月期は決算期変更による移行期間のため変則決算となり、2023年1月1日から2024年1月31日までの13か月決算となります。通期の対前期増減率については比較対象期間が異なりますが、参考数値として記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年1月期3Q	55,225,600株	2022年12月期	55,180,600株
② 期末自己株式数	2024年1月期3Q	300,340株	2022年12月期	302株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年1月期3Q	55,066,110株	2022年12月期3Q	54,782,814株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2023年11月13日(月)に当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
3. その他	9
(1) 販売の状況	9
(2) 設備投資の予想値	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、インフレの高止まりや多くの国・地域での労働市場の逼迫などにより、依然として成長の減速傾向が続いています。また、世界的な金利上昇や地政学リスクの顕在化により、金融リスクが高まっています。

当社グループの主力事業であるリチウムイオン二次電池セパレータ事業においては、世界的な一部の民生用製品の需要低迷から民生向け出荷量は伸び悩み、民生向け売上高が12,675百万円となり前年同期比26.4%減少しています。一方で、EV向けについても市場全体の需要の伸びに減速傾向はあるものの、各国の環境政策等に支えられ、当社取引先のハイエンド車種の需要は堅調であることから、車載向け売上高は22,356百万円となり前年同期比67.6%の増加となりました。また、イオン交換膜事業においては、供給契約に伴う前受金のうち1,233百万円を当第3四半期累計期間に売上計上しています。その結果、当第3四半期連結累計期間は、概ね計画通り連結売上高は36,265百万円となり、前年同期比3,821百万円(同11.8%増)の増収となりました。

顧客別には、韓国顧客に対して車載用電池向けが引き続き増加しており、売上高は36,001百万円となり、前年同期比4,876百万円(同15.6%増)の増収となりました。

営業利益に関しては、売上高が前年同期比3,821百万円の増収となった一方で、販売数量の増加に伴い原材料費529百万円、減価償却費253百万円、人件費416百万円など、売上原価等の費用が前年同期比5,421百万円増加しました。その中で、前第3四半期連結累計期間に負担の大きかった運送費は、海外向けの物流が安定してきたことから前年同期比628百万円減少し、1,296百万円となりました。水道光熱費は、燃料価格の高止まりしていることから生産量の増加や既存成膜ラインの改造に伴う費用の増加などに伴って、当第3四半期連結累計期間で前年同期比1,054百万円の増加となりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は前年同期比で1,600百万円減少し、3,627百万円(前年同期は5,227百万円)となり、営業利益率は10.0%(前年同期は16.1%)となりました。

製造の状況に関しては、W-SCOPE KOREA CO., LTD. (以下、WSK)において既存ラインの改良工事が順調に進んでおります。また、当第3四半期末までにWSK第3号工場のW-SCOPE CHUNGJU PLANT CO., LTD. (以下、WCP)への移転が完了し、WCPへのセパレータ事業集約化とWSKでのイオン交換膜事業拡大を進めています。

営業外収益は米ドル建て債権債務等為替評価差益726百万円、受取利息428百万円などを計上しており、営業外費用として支払利息404百万円などがありました。結果として、税金等調整前四半期純利益は4,578百万円(前年同期は税金等調整前四半期純利益7,102百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は797百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益3,690百万円)となりました。

当連結会計年度の平均為替レートにつきましては1米ドルが137.79円、1,000韓国ウォンが106.0円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては166,257百万円となり、前連結会計年度末に比べ26,730百万円増加しました。また、負債につきましては41,886百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,624百万円の増加、純資産につきましては124,371百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,106百万円の増加となりました。それぞれの主な要因は以下のとおりであります。

(資産)

流動資産につきましては47,694百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,154百万円の減少となりました。これは主として、棚卸資産が1,060百万円増加した一方で、現金及び預金が11,656百万円減少したことによるものであります。固定資産につきましては118,562百万円となり、前連結会計年度末に比べ35,885百万円の増加となりました。これは主として、機械装置が2,618百万円の減少、建設仮勘定が37,241百万円増加したことによるものであります。

(負債)

流動負債につきましては29,763百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,915百万円の増加となりました。これは主として、短期借入金が5,256百万円、1年内返済予定の長期借入金が5,461百万円、未払金が1,348百万円それぞ

れ増加したことによるものです。固定負債につきましては12,123百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,708百万円の増加となりました。これは主として、長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては124,371百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,106百万円の増加となりました。これは主として、為替換算調整勘定が3,254百万円増加、非支配株主持分が7,630百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、EV向けについては需要の伸びに市場全体の減速傾向はあるものの、当社子会社の取引先のハイエンド車種向けの需要は堅調である一方、世界的な一部民生製品の需要低迷から民生向け出荷量は減少しています。この状況は当第4四半期においても継続することが予想されますが、費用面においては、WSK第3工場をWCPに移転し製造過程や各子会社の経営資源の効率化が進むなどの想定から、当期の通期予想を据え置くこととしました。

来期については、EV向けは引き続き取引先のハイエンド車種の需要増加が見込まれ、民生向けは一部製品用途の需要が低調に推移するものと想定しています。当社では、これら来期以降のEV向けの需要増加に合わせて、今後WCPの2本の新規成膜ラインとハンガリー工場の量産稼働準備を進めています。

一方、来期のイオン交換膜事業においては、新規案件の獲得やモジュール組立て工程の自動化などを進めていく計画です。また、今後は対応できるアプリケーションをリチウム精製以外にも拡大していく準備を進めており、来期以降に事業規模が急速に拡大していくと見込んでおります。

なお、セパレータ事業の北米案件については、米国インフレ抑制法(Inflation Reduction Act, IRA)が制定されたものの、セパレータ製造に関する規制の詳細が未定(2023年12月確定予定)であるため、その詳細の公表を待って、北米進出計画を確定させる予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,841	21,184
受取手形、売掛金及び契約資産（純額）	12,142	12,315
商品及び製品	9,034	10,140
原材料及び貯蔵品	1,151	1,105
その他	1,679	2,948
流動資産合計	56,848	47,694
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,304	1,485
建物及び構築物	15,543	16,150
減価償却累計額	△2,943	△3,086
建物及び構築物（純額）	12,599	13,064
機械装置及び運搬具	66,741	67,396
減価償却累計額	△30,430	△33,704
機械装置及び運搬具（純額）	36,310	33,692
建設仮勘定	27,507	64,749
その他	1,794	2,119
減価償却累計額	△887	△1,074
その他（純額）	906	1,045
有形固定資産合計	78,628	114,037
無形固定資産		
その他	144	128
無形固定資産合計	144	128
投資その他の資産		
投資有価証券	1,072	1,228
繰延税金資産	2,697	3,063
その他	136	105
投資その他の資産合計	3,905	4,396
固定資産合計	82,677	118,562
資産合計	139,526	166,257

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,150	1,956
短期借入金	7,039	12,296
1年内返済予定の長期借入金	2,726	8,188
未払金	3,973	5,321
未払法人税等	326	518
製品保証引当金	31	23
その他	599	1,459
流動負債合計	16,847	29,763
固定負債		
長期借入金	7,856	10,116
退職給付に係る負債	359	581
資産除去債務	1,042	1,037
その他	157	388
固定負債合計	9,414	12,123
負債合計	26,262	41,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,353	15,360
資本剰余金	43,510	43,266
利益剰余金	△12,305	△11,507
自己株式	△0	△338
株主資本合計	46,557	46,781
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,748	7,003
その他の包括利益累計額合計	3,748	7,003
新株予約権	107	106
非支配株主持分	62,850	70,480
純資産合計	113,264	124,371
負債純資産合計	139,526	166,257

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	32,444	36,265
売上原価	25,615	30,989
売上総利益	6,828	5,275
販売費及び一般管理費	1,601	1,648
営業利益	5,227	3,627
営業外収益		
受取利息	20	428
為替差益	2,211	726
助成金収入	51	65
その他	67	228
営業外収益合計	2,350	1,450
営業外費用		
支払利息	455	404
オプション評価損	17	87
その他	2	6
営業外費用合計	475	498
経常利益	7,102	4,578
税金等調整前四半期純利益	7,102	4,578
法人税等	708	360
四半期純利益	6,394	4,218
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,704	3,420
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,690	797

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	6,394	4,218
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,314	7,670
その他の包括利益合計	2,314	7,670
四半期包括利益	8,709	11,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,968	4,051
非支配株主に係る四半期包括利益	3,741	7,837

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が前第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が前第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

前第3四半期連結累計期間において、資本金が129百万円、資本剰余金が12,234百万円増加し、前第3四半期連結会計期間末において資本金15,346百万円、資本剰余金が43,441百万円となっております。

これは主に、前第1四半期連結会計期間に行われた転換社債型新株予約権付社債の権利行使により、資本剰余金が1,249百万円増加したこと、前第3四半期連結会計期間に行われた子会社W-SCOPE CHUNGJU PLANT CO., LTD. の韓国証券取引市場(KOSDAQ)上場に伴う新株発行による増資及び当社が保有するWCP株式の一部売却を行った結果、資本剰余金が10,855百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2023年4月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式300,000株の取得を行っております。この結果、当第3四半期累計期間において、自己株式が338百万円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が338百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当連結会計年度の税金等調整前四半期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、見積実効税率を合理的に見積もれない場合、税金計算については年度決算と同様の方法により計算し、繰延税金資産及び繰延税金負債については回収可能性等を検討した上で四半期連結貸借対照表に計上しております。

3. その他

(1) 販売の状況

販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業部門の名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	
	販売高(百万円)	前年同期比(%)
リチウムイオン二次電池用セパレータ	36,265	111.8
合計	36,265	111.8

(注) 1 イオン交換膜のモジュール供給契約による前受金1,233百万円が計上されていますが、金額が僅少であるため、リチウムイオン二次電池用セパレータの販売高に含めています。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
Samsung SDIグループ	30,303	93.4	33,361	92.0

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 設備投資の予想値

会社名	事業所名 (所在地)	設備の 内容	投資予定額		資金調達方法	着手年月	完了予定 時期	完成後の 増加能力
			総額 (百万円)	既支払額 (百万円)				
W-SCOPE CHUNGJU PLANT CO., LTD.	本社 (大韓民国 忠清北道 忠州市)	WCP製膜ライン 第7号～第8号	12,000	11,354	自己資金及び 銀行借入	2021年 10月	2023年 下期	生産量 約25%増
W-SCOPE HUNGARY PLANT LTD.	本社 (ハンガ リー、ニ ーレジハ ーザ市)	工場用地、建屋 及び製膜ライン	90,000	26,090	自己資金及び 子会社IPO	2022年 5月	2024年 下期	—

(注) 1 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2 当社の事業はリチウムイオン二次電池用セパレータ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

3 設備の内容については、各社ごとの設備の種類別に通し番号で表示しています。

4 「完成後の増加能力」については2021年連結会計年度末比にて記載しております。